



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション
 コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役本部担当 (氏名) 田中 文人

TEL 03-3279-1330

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,865	3.4	161	159.8	233	202.4	159	232.0
2019年3月期第2四半期	9,181	8.3	62	47.0	77	35.5	48	93.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10百万円 (94.9%) 2019年3月期第2四半期 213百万円 (74.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	40.02	
2019年3月期第2四半期	12.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,172	11,197	41.2
2019年3月期	27,730	11,306	40.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,197百万円 2019年3月期 11,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				30.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	6.9	250	19.3	300	12.7	550	196.3	138.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 市田株式会社
(注)詳細は、添付資料9ページ「2.(4)連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料9ページ「2.(4)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,069,747 株	2019年3月期	4,069,747 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	87,163 株	2019年3月期	86,999 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	3,982,663 株	2019年3月期2Q	3,983,202 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境は堅調に推移したものの、景況感はやや弱含みの見方もあり、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などによる景気減速の懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況であります。

このような環境下にあつて当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は8,865百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は161百万円（前年同期は営業利益62百万円）、経常利益は233百万円（前年同期は経常利益77百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益48百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

[和装事業]

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、不採算催事からの撤退などにより減収となりましたが、催事運営管理の精度の向上に取り組み、固定経費・催事経費の圧縮による経費の節減により損益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,427百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント損失（営業損失）は49百万円（前年同期はセグメント損失71百万円）となりました。

[洋装事業]

アパレル事業におけるメンズ部門につきましては、受注額は前年並みに推移しましたが、レディース・OEM部門につきましては、低利益率案件の受注を見直したことにより受注額が減少しました。その結果、アパレル事業につきましては、減収減益となりました。

ユニフォーム事業につきましては、前年同期ほどには受注案件の獲得が進まず、減収減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は3,396百万円（前年同期比12.8%減）、セグメント利益（営業利益）は132百万円（前年同期はセグメント利益193百万円）となりました。

[ホームファニッシング事業]

ホームファニッシング事業につきましては、直営店の新規出店と不採算店舗の絞込みや業態変更を図り、売上は前年並みに推移しましたが、仕入コストの削減や経費の節減もあり収益は改善し、黒字となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,855百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益（営業利益）は14百万円（前年同期はセグメント損失125百万円）となりました。

[健康・生活事業]

健康・生活事業につきましては、浄水器、既存の健康機器を中心に売上高は大幅に増加したものの、既存の健康機器の利益率が低下したため、利益の大幅な増加とはなりませんでしたが増収増益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,775百万円（前年同期比31.6%増）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同期はセグメント利益96万円）となりました。

〔建物の賃貸業〕

建物の賃貸業につきましては、家賃収入はほぼ前年並みに推移しましたが、修繕費用が増加したため増収減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は474百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は229百万円（前年同期はセグメント利益251百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産の部は、前連結会計年度末に比べ558百万円減少し、資産合計は27,172百万円となりました。これは流動資産における現金及び預金が720百万円、受取手形及び売掛金が316百万円それぞれ減少し、たな卸資産が728百万円増加したことに加え、投資その他の資産における投資有価証券が時価評価等により182百万円減少したことによります。

また負債の部は、前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、負債合計は15,974百万円となりました。これは流動負債における短期借入金が1,794百万円、返品調整引当金が47百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が67百万円増加、固定負債における長期借入金が1,501百万円増加したことが主な要因であります。この長期借入金、短期借入金の変動は主に返済期限による長期、短期の振替によるものであり、借入金全体としましては292百万円の減少となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ108百万円減少し、純資産合計は11,197百万円となりました。これは利益剰余金が39百万円増加し、その他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が121百万円減少したことが主な要因となります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,691百万円となり、前連結会計年度末と比べ720百万円の減少（前年同期は41百万円の増加）となりました。この主な要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は145百万円（前年同期は529百万円の増加）となりました。これは、売上債権は減少し仕入債務は増加したものの、たな卸資産が増加したことが主な要因となります。この結果、前年同期と比べて675百万円の減少となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は151百万円（前年同期は63百万円の減少）となりました。これはアウトレットに新規出店したことや本社ビルにおける設備

投資等により、有形及び無形固定資産の取得による支出が152百万円となったことが主な要因となります。この結果、前年同期と比べて87百万円の支出の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は423百万円（前年同期は423百万円の減少）となりました。これは主に長期及び短期借入金の返済による支出と配当金の支払額によるものであります。この結果、前年同期とほぼ同等の資金の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2019年5月15日発表の通期連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,421	1,701
受取手形及び売掛金	3,513	3,196
たな卸資産	2,116	2,845
その他	537	432
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,588	8,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,664	2,663
土地	10,581	10,581
その他（純額）	157	160
有形固定資産合計	13,403	13,405
無形固定資産		
その他	105	123
無形固定資産合計	105	123
投資その他の資産		
投資有価証券	3,432	3,249
出資金	1,500	1,500
退職給付に係る資産	426	439
その他	283	289
貸倒引当金	△9	△11
投資その他の資産合計	5,633	5,467
固定資産合計	19,142	18,997
資産合計	27,730	27,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,959	4,026
短期借入金	7,214	5,419
未払法人税等	59	104
未払消費税等	58	3
返品調整引当金	71	23
その他	525	326
流動負債合計	11,887	9,904
固定負債		
長期借入金	1,230	2,731
繰延税金負債	2,328	2,276
再評価に係る繰延税金負債	13	13
役員退職慰労引当金	20	20
退職給付に係る負債	238	240
資産除去債務	10	10
その他	695	777
固定負債合計	4,537	6,070
負債合計	16,424	15,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829	2,829
資本剰余金	709	709
利益剰余金	7,006	7,046
自己株式	△104	△104
株主資本合計	10,441	10,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	769	648
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	7	7
為替換算調整勘定	2	2
退職給付に係る調整累計額	83	56
その他の包括利益累計額合計	865	716
純資産合計	11,306	11,197
負債純資産合計	27,730	27,172

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	9,181	8,865
売上原価	6,456	6,109
売上総利益	2,724	2,755
返品調整引当金繰入額	16	23
返品調整引当金戻入額	58	71
差引売上総利益	2,765	2,803
販売費及び一般管理費	2,703	2,641
営業利益	62	161
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	52	102
投資有価証券売却益	2	2
保険配当金	8	7
為替差益	-	0
その他	14	12
営業外収益合計	81	128
営業外費用		
支払利息	49	51
手形売却損	2	2
為替差損	3	-
貸倒引当金繰入額	1	-
その他	9	2
営業外費用合計	66	56
経常利益	77	233
特別損失		
組織再編関連費用	-	7
特別損失合計	-	7
税金等調整前四半期純利益	77	225
法人税、住民税及び事業税	29	65
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	29	65
四半期純利益	48	159
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	48	159
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173	△121
繰延ヘッジ損益	8	0
為替換算調整勘定	△1	△0
退職給付に係る調整額	△15	△26
その他の包括利益合計	165	△148
四半期包括利益	213	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213	10
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	77	225
減価償却費	90	103
有形及び無形固定資産除却損	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△78	△37
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△41	△47
受取利息及び受取配当金	△55	△104
支払利息	49	51
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2	△2
為替差損益 (△は益)	3	0
売上債権の増減額 (△は増加)	835	318
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△86	△728
仕入債務の増減額 (△は減少)	△166	83
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△106	62
その他	32	△68
小計	551	△141
利息及び配当金の受取額	54	102
利息の支払額	△40	△50
法人税等の支払額	△36	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	529	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△10
定期預金の払戻による収入	10	10
有形及び無形固定資産の取得による支出	△63	△152
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	3	12
その他の支出	△12	△23
その他の収入	9	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,025	650
短期借入金の返済による支出	△1,325	△945
長期借入れによる収入	430	1,502
長期借入金の返済による支出	△430	△1,500
リース債務の返済による支出	△2	△10
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△119	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△423	△423
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41	△720
現金及び現金同等物の期首残高	1,803	2,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,844	1,691

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第 1 四半期連結会計期間におきまして、ツカモトアパレル株式会社、ツカモトユーエス株式会社、ツカモトエイム株式会社、ツカモト株式会社、市田株式会社、塚本倉庫株式会社及び株式会社創新の 7 社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。変更後の連結子会社の数は 3 社であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間（自 2018 年 4 月 1 日 至 2018 年 9 月 30 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニッシング 事業	健康・生活 事業	建物の 賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する 売上高	1,645	3,897	1,882	1,349	406	9,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	12	—	65	78
計	1,645	3,897	1,894	1,349	472	9,259
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△ 71	193	△ 125	0	251	249

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	249
セグメント間取引消去	3
全社費用（注）	△ 190
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	62

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニシング [※] 事業	健康・生活事業	建物の賃貸業	
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,427	3,396	1,842	1,775	423	8,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	12	—	51	63
計	1,427	3,396	1,855	1,775	474	8,928
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△ 49	132	14	9	229	336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	336
セグメント間取引消去	1
全社費用（注）	△ 176
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	161

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。